

OPEN

今年度は、盛岡市より約 5,200円 の助成*があります！

子宮頸がん検診は助成がない場合、7千円を超える高価な検査ですが、市の検診を受けると約 5,200円 の助成がです。（自己負担金 2,200円）

このハガキで受診する際は、下記の項目をすべてチェックした状態で、医療機関にお持ちください。

- ☐ 令和7年4月 から現在までに子宮頸がん検診を受診していません。（職場の検診、人間ドッグを含む）
- ☐ 年度内に2回以上受診した場合、検診費用約7,400円がすべて自己負担となります。
- ☐ 上記の注意事項を確認して、市の検診を受診することに同意します。

検 査 費 用	約7,400円
― 助 成 金	約 5,200円
自己負担金	2,200円

※現金が支給されるわけではありません。

今年度の受診期間は

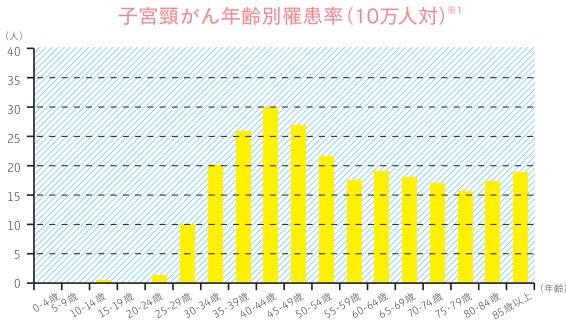
令和 8 年 3 月 1 0 日 まで

盛岡市保健所 企画総務課
〒020-0884 盛岡市神明町3-29
電話 | 019-603-8301 FAX | 019-654-5665

検診期間終了間際は大変混み合いますので、希望の医療機関を受診できない場合があります。すぐに医療機関を予約・受診しましょう。
このはがきは、がん検診受診率向上＜希望の虹プロジェクト＞が作成しました。

POSTCARD

子宮頸がんは、20代後半以降から増え、特に30～40歳代の女性で近年増加傾向にあるがんです。



子宮頸がんは、早期のうちはほとんど自覚症状がありません。

「特に異常はないから大丈夫」そう思っていませんか？
早期には自覚症状がないため、「異常を感じたら」では手遅れになる場合があります。
早期に見つけるには、検診を受けるのが最善の方法です。

※1 出典：国立がん研究センター がん情報サービス「がん登録・統計」
地域がん登録全国推計によるがん罹患データ（1975～2013年）

子宮頸がんは、早期のうちに治療すれば、90%以上が治癒します。^{※2}

子宮頸がんが進行すると、子宮摘出手術が必要となる場合もありますが、早期のうちに治療すれば、子宮を摘出せずに治癒できるため、妊娠・出産も可能です。
検診を受け早期発見・治療することにより、がんになるリスクや死亡リスクが減少します。

5年相対生存率

早期発見した場合
(I期)

93.7%

早期発見できなかった場合
(IV期)

25.4%

多くのがんは、2年に1度の検診で早期発見できます。
ただし、中には急激に大きくなるものもあるため、月経(生理)以外に出血がある、月経が不規則などの症状がある場合は次の検診を待たずに病院へ行きましょう。

※2 ここでいう「治る（＝治癒）」とは、診断時からの5年相対生存率です。
相対生存率は、がん以外の原因で亡くなる人の影響を除いた数値です。
出典：全がん協加盟施設における5年生存率（2010～2012年診断例）

